

# そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 20

2016年2月24日発行

2月の聖句「どんなことにも感謝しなさい」

(テサロニケの信徒への手紙5章18節)

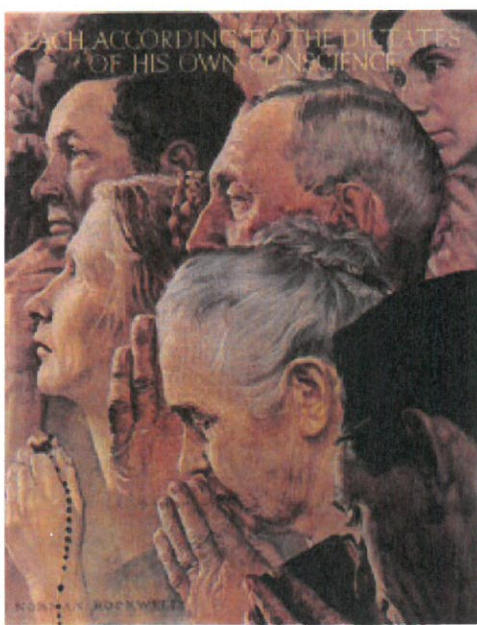
チャプレン 池田 亨

聖パウロの言葉です。考えれば、考えるほど、素直に受けとめることができない言葉の一つでしょう。なぜなら、わたしたちは目のさまざまな出来事に一喜一憂する者だからです。

しかし、わたしたちにとって、苦しく辛く悲しい出来事においても、その時間の経過と心の成熟によって「悲しみの涙」が、やがて「感謝の涙」に変えられる経験をします。

わたしには、重度の知的障がいを伴う自閉症の一人息子がいます。21歳になりました。息子の成長の過程において、口では言い表せない苦しみを経験しました。でも、わたしも妻も、すこしづつ成長させて頂いたのでしょう。今では、障がいのある息子から与えられた恵みに、息子の存在にそのいのちに感謝しています。

わたしたち、どんなことにも（直訳：すべてのことにおいて）感謝できますように。



祈る姿・祈る手

ノーマン・ロックウェル

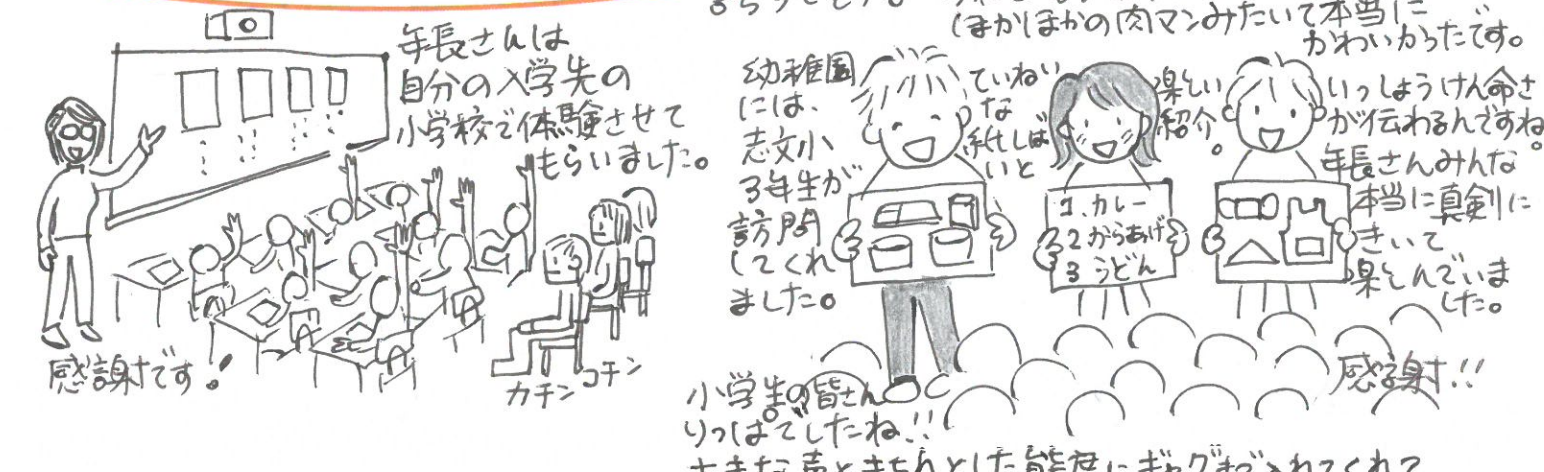
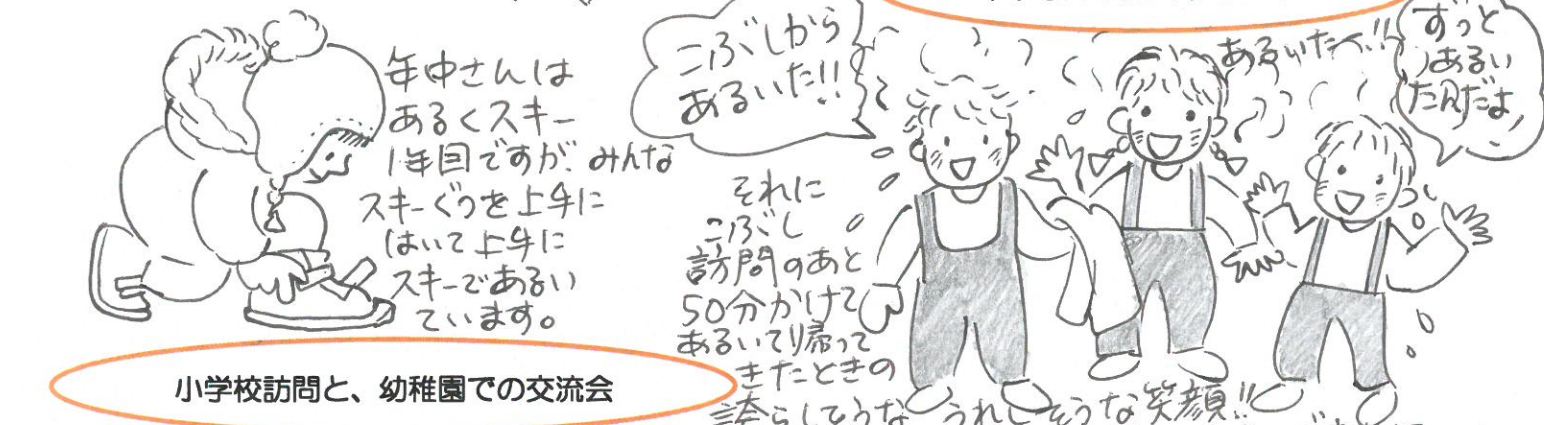
(アメリカ・1894~1978年)

“Freedom of Worship”

## 雪の中、どんどん出て行く聖十字っこ！

園長 菊地 和子

岩見沢はうわさのとおり、やっぱりすごい雪の量ですね！！  
でもそんな中でも子ども達は、どんなに寒い日でもどんどん外に出て行きます。頼もしい！



### 先生方も学んでいます。

今年度、担任・補助の先生合わせて延べ93人も先生方が、あちこちの研究会に行って学びました。2月にはかよこ先生が筑波大東京キャンパスで特別支援の実践について学び、その次の日、武蔵野第2幼稚園（自閉症を特化したインクルーシブ教育）を訪れました。飛行機欠航のため羽田空港で夜を明かし、次の日 JR を乗り継いで帰ってきてスキー授業をし、またすぐ今度は同じ教会の学校法人で行う研究会に、ちか先生・かなえ先生と東京の立教短大へ。子育てで有名なイタリアのレッジョ・エミリア市の教育について学び、とても勉強になって、ホテルに帰ってから3人で1時間も熱く語り合ったそうです。もっといい保育をしたい・・・先生方全員が熱い気持ちで頑張っている聖十字です。